



三春中学校だより

第 33 号

発行日 平成30年 9月25日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【高橋教育長さん、武地職務代理者さん来校！ ～町教育委員訪問の日でした。～】

「先生方の（子どもたちの学びを）認める視線を感じました。」「明るく穏やかで素直な子どもたちです。気さくに話ができて、仲間を大切に、ゆったり伸びやかに成長する雰囲気ができています。3年生は受験を迎えるので、（進路実現にむけたがんばりに）期待しています。」三春町教育委員会高橋教育長様、武地職務代理者様からのお話でした。

9月19日（水）の午後は、町教育委員会が取り組んでおいでの三春町教育委員訪問の在校日でした。お二人の委員さんをお迎えし、子どもたちとの交流、授業参観、校舎案内、部活動訪問などで、三春中学校の諸活動をご覧いただきました。訪問終了時、お二人の委員さんよりいただいたのが先ほどの言葉です。

三春中学校は、子どもたちの諸活動を、『認め、励ます』取り組みを大切に、一人ひとりに『命の輝き』を身につけさせるよう努めています。4月に行われた全国学力調査では、質問紙への3年生のアンケートで、『自分にはいいところがあるか？』の質問に、42パーセントの生徒がはっきり「はい」と、38パーセントの生徒が「どちらかといえば」と回答し、県や全国の値より10パーセントほど高い値となっています。自分のよさをはっきりと自覚しながら学校生活を送っている姿が見取れます。子どもたちの生き生きした姿を褒めていただいたことをとてもうれしく思いつつ、お見送りいたしました。



【全国学力調査の結果を受け、授業改善等に取り組んでいます。】

I 結果

全国学調査結果を受けて

1 先生方の『認め・励ます』指導の成果と課題について

- (1) 成果として、
 - ① 自尊感情が育ちつつあり、ルールを意識しながら生活できている。
- (2) 課題として、
 - ① 出された宿題はやるが、2時間以上家庭学習に取り組んでいる生徒が極端に少ない。

2 家庭・地域での生活について

- (1) 家族との会話が少なく、66パーセントの生徒が家庭では新聞を全く読んでいない。

3 数学・理科の勉強について

- (1) 40パーセント強の生徒が数学・理科に苦手意識をもつが、どちらも大切な教科であるという意識をもって取り組んでいる。
- (2) 数学の授業は71パーセントの生徒が、理科の授業は63パーセントの生徒がよくわかると回答している。
- (3) 予想をたてて観察・実験する機会が少なく、「書く」問題を諦めた生徒が多い。

4 調査の解答時間について

- (1) すべての調査で、解答時間が不足だったと回答している。

II 対応

- 『認め、励ます』指導を継続してまいります。
- 学習コンテストなどあらゆる機会を活用し、学習量と学習時間の確保を図ってまいります。
- どの教科もバランスよく学習するよう働きかけてまいります。
- 興味関心を喚起し、観察・実験などの体験的活動を取り入れ、学びの実感のある授業を展開してまいります。
- 限られた時間の中で答えを出せるよう、集中力と時間意識をもって授業を展開してまいります。

【新人戦でのがんばりを誓って！ ～全校生で大活躍を期待し、激励しました。～】

9月21日（金）、本校体育館において、9月26日（水）・27日（木）の2日間にわたって行われる田村支部中体連新人大会出場の1・2年生新人チームへの激励会が行われました。新人大会に参加するすべてのチームが壇上に進み、応援・激励の全校生に向かってあいさつし、その後、応援団を中心に、全校生が新人チームに心からのエールを贈りました。

前号、前々号でお伝えした3年生キャプテンからのメッセージをもう一度校長より紹介し、大会を通して競技力と共に、人としての成長の階段を着実に上っていきけるようにと心から応援いたしました。



【全校生が校庭に勢揃い！～写真屋さんがクレーンから全校生の集合写真を撮影しました。～】

9月18日（火）の昼休み、町の駐車場には、カメラマンと撮影器具を載せた高所作業用クレーン車がありました。

今日は、三春中学校の校舎を背景に、全校生の集合写真を撮影する日でした。夏休み前の酷暑の中、予定していた撮影を順延していたものでした。

毎年、3年生を最前列に配し、その写真は、校舎内CGに掲示されるとともに、卒業アルバムにも使用されていました。

降りてきた三春写真館の遠藤さんに聞くと、「今日は風が強くて怖かった。」とのこと。安全ベルトとフックは身につけていたものの、たいへんな中をありがとうございました。



【こころ豊かに！ ～中秋の名月を目前に、給食で月見団子が供されました。～】

9月21日（金）の給食には、サンマの香り焼き、実たくさん汁、そして、みたらしの月見団子が出ました。丸いお団子のような月が見られるかなあと空を見上げると、屋根から落ちる雨水はレンガの上で王冠をつくっていて、お月様が出るかどうか心配されました。

しかし、お彼岸の中日の秋分の日には、澄み渡る秋空に、赤とんぼが空を舞い、物干しの上で羽を休めていました。その日の夜空も澄み渡り、くっきりとしたお月様を眺めることができ、翌日の振替休日にも、雲間から見え隠れする中秋の名月を見ることができました。

お団子をいただいて健康や幸せを願い、稲穂の代わりにススキを飾り豊作や子孫繁栄を願う、日本という国の風習の一つです。忙しい日々、天高く広がる秋空やが雲居に輝く丸い月を眺めてみるのもこころの豊かさにつながるものではないでしょうか。

